

8-2 Aload の算定について

各居室から直通階段が均等に配置されない計画の場合、各階段が負担する避難者の数の割合が均等にならず、階段及び階段手前で避難者の過度の集中となる恐れがあります。しかし、ルート B では、どの階段においても均等に避難が行われる想定となっています。

A～E 室までの避難者が避難する階段室として想定されるのは【A 階段】

F 室の避難者が避難する階段室として想定されるのは【B 階段】

この場合、B 階段は階段室内、階段室手前で滞留がおこらず、有効流動係数が大きく見込めます。対して、A 階段では 110 人が避難に利用する為、滞留がおこり流動係数が小さくなります。しかし、ルート B では、平均して避難する検討となる為、A～E 室の避難者についても B 階段を使用し避難する事となっています。

